

湯沢砂防だより

緊急災害対策派遣隊 (TEC-FORCE) として

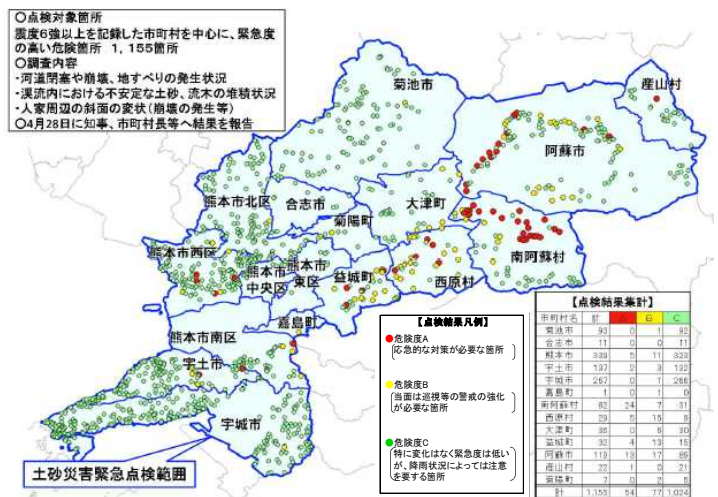
熊本地震に伴う土砂災害危険箇所の緊急点検を行いました

国土交通省北陸地方整備局は、熊本県で発生した地震に対する支援のため、地震（本震）発生の16日からTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を派遣しました。湯沢砂防事務所からも18日から23日まで1班5名、22日から28日まで1名が災害支援をおこないました。活動としては、震度6強以上を記録した市町村を中心に、土砂災害の危険箇所1,155箇所の緊急点検を実施しました。この緊急点検の結果、応急的な対応や警戒が必要な131箇所を抽出し熊本県及び関係する市町村へ報告しました。また、22日からは「土砂災害対策アドバイザー」として現地の警戒避難体制の強化や、捜索活動の安全確保を支援しました。

これらの活動が、地域住民の安全・安心の確保や被災地の早期復旧に役立てばと思います。

熊本地震では、家屋倒壊などの被害に加え、多くの土砂災害も発生しました。

土砂災害発生件数136件（土石流等57件、地すべり9件、がけ崩れ70件）国土交通省調べ：5月20日時点



左の緊急点検写真2枚及び調査結果は国土交通省ホームページより記載



NHKの取材があり、緊急点検内容や豪雨時には河川に近づかないなど注意点を説明しました。